



【学校教育目標】

よりよく生きる

～自律・貢献・感謝～

学校通信

令和6年4月18日 NO.1

東広島市立豊栄中学校

〒739-2317 東広島市豊栄町鍛冶屋341-1

Tel 082-432-2351

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/toyosaka-chu/>

令和6年度のスタート

入学・進級おめでとうございます。

令和6年度がスタートしました。4月8日（月）の始業式では、生徒の皆さんの元気な姿を見ることができてとてもうれしい1日となりました。生徒の皆さん、保護者の皆様、入学・進級おめでとうございます。

始業式で、校長先生は、学校生活で大切にしてほしいこととして、次のように話をされました。

○切磋琢磨

自分を高めていくためには、周囲の人との関りの中で、よい意味で競い合い、自分を振り返り、よさを伸ばすとともに課題を克服していかなければなりません。競い合うことで、自分の弱さや課題に気づき、それらを克服するためには努力と忍耐が必要であること、そして何より、互いに励まし合う友だちの存在が必要であることを実感してください。きっとその先に、今まで以上によい結果が待っていると思います。

○言葉に心をのせる

これからの国際社会で求められるものは、自分の考えをもち、多様な他者と関わり、様々な課題を解決していくために、お互いの考えを伝え合い、よりよい考えや行動を導いていく力です。

確かに自分を主張することも大事ですが、自分の考えや自分が知っていることを一方的に主張しても、相手は受け入れてくれません。それどころか、お互いの感情の制御がきかなくなり、大きな溝ができてしまいます。このような状況をつくらないためには、しなやかなコミュニケーションにより、自分と異なる価値観をしっかりと受け止め、理解し、共感し、相手の立場に立つて考えることが欠かせません。

○相手を意識したコミュニケーション

コミュニケーション手段としての言葉に心をのせることで、元気や勇気をもらい、将来に夢をもつことや周囲の人たちと協力して、新しい価値を創造することができます。

皆さん一人一人が様々な場面を利用して、自分の意見を分かりやすく述べたり、相手の意見を的確に理解したりして、話し合いによって問題を解決するコミュニケーションスキルを身に付けてください。

○2・3年生に期待すること

一年間を実りあるものにするために、周囲の人のこと、自分自身の言動の影響などを考え、様々な場面で振り返りを行うとともに、お互いの考えや意見を伝え合い、支え合い、学び合って、お互いの「よさ」を見つけてください。

豊栄中学校の生徒として、様々な場面で皆さんが真剣に物事に向き合う姿、態度や気持ちが引き締まった「凜」とした姿を見せてくれることを期待します。

令和6年度第78回入学式

4月9日（火）豊栄中学校第78回入学式が行われ、16名が入学しました。来賓の方々にもご臨席いただき、新入生の新たな中学校生活の門出を祝福しました。

PTA会長有原様は、毎日をしっかり過ごして、中学校生活を後悔しないようにと話されました。

学校長式辞では、中学校生活で期待する3つのことを挙げられました。

○自分で限界を決めない

中学校の三年間は、心と身体が最も成長する大切な時期です。また、自分自身はどうあるべきかと自問自答したり、生き方そのものに感心が深まったりする時期でもあります。答えのない問題に出会ったときに、仲間と協働しながら、心豊かに新たなものを創りだして行く基礎を培って欲しいと思います。そのためには、今までの自身の殻にとらわれず、新しい自分を見つけ、また、友だちの素晴らしいところに学び、自分を鍛えるために、互いに切磋琢磨し、卒業時には、「豊栄中学校に来てよかった。」「豊栄中学校で学んだことを誇りに思う。」と、実感できるように努力を積み重ねてください。

○高い志をもつ

高い志をもち、自分の夢に果敢に挑戦してください。そして、いつの日かその夢を実現させてください。学習は、自分から求めて、自分でするものです。目的や目標をもって学ぶことが大切であり、それも自らの意志で、学ぶことこそが大切なのです。「主体的な学び」です。高い志を立て、目標に向かって実行することです。また、持続されなければ何事も成就不できます。特に中学・高校時代の学びこそ、将来の学びの基礎づくりとして、最も大切

な時期であり、将来の方向を決定するものです。持続可能な社会の構築に貢献するために、高い志をもち続けてください。

○よき友人をつくる

「友情は、喜びを二倍にし、悲しみを半分にする。」（独シラー）。人は人との触れ合いを通して心が豊かになり、連帯と友情の輪を広げます。特に、中学・高校時代に築いた友情は、一生の支えになるものです。学習や学校行事に打ち込み、部活動などに積極的に参加し、切磋琢磨する中で生まれる友情を、大切にしてください。人の生き方、考え方に最も影響を与えるのは「人との出会いである。」ということを忘れず、クラスの仲間や先輩との出会いを大切にしたいと思います。



豊栄中学校では、学校教育目標を「よりよく生きる～自律・貢献・感謝」として、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばしていくために、全教職員が全力で取り組んで参ります。また、今年度より、豊栄小学校と隣接型小中一貫校として、科学的思考力のさらなる育成に努めて参ります。保護者の皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

新たに就任した教職員です。

よろしくお願いします。

今年度豊栄中学校に赴任した教職員の就任式を4月8日（月）に行いました。新たに赴任した教職員を紹介します。

校 長	加藤 真悟			
教 諭	空本 秀大	山縣 祥子	岡田 佳代	
心のサポーター	根山 久美子	拠点校指導教員	高松 公一	

体罰・セクハラ相談窓口

豊栄中学校では、体罰、セクシャル・ハラスメントの相談窓口を設けております。

体罰セクハラ相談窓口 【082-432-2351】				
	担当者	来校曜日	時 間	相談場所
心のサポーター	根山 久美子	火・水曜日	8:25~12:25	相談室
スクールカウンセラー	片山 範子	水曜日	10:00~16:15	相談室
体罰、セクハラ相談窓口	教 頭 刎本 英博 生徒指導主事 西浦 瑞姫 養護教諭 藤原 敦美	生徒に対する体罰、セクシュアル・ハラスメントの早期発見と被害の拡大を防ぐことを目的としています。何かありましたら、遠慮なくご相談ください。		